

# 学習支援センターニューズレター

## 第5号

発行：平成28年9月1日 埼玉工業大学学習支援センター運営委員会

### 第5号 目次

巻頭言「睡眠は大事」	… 1
コラム「あなたは「化学」好きですか？」	… 2
コラム「資格取得に向けて」	… 3
学習支援センターのご案内	… 4

## 巻頭言

# 睡眠は大事



学習支援センター長 小西 克享

勉学は根気や忍耐力、集中力などを必要とし、苦手意識を持つ学生には決して楽しいものとは言えません。それでも高校生の頃は、大学の入学試験に合格したいという希望や目的があるため、いやいやながらも「勉強せざるを得ない」という気持ちになります。いざ大学に入学してしまうと勉強する意味を見失いがちです。もちろん「卒業しなければ」という気持ちがあれば、一応の動機づけにはなりますが、受験勉強をしていた頃よりはるかに勉強意欲は低下してしまいます。

大学では、講義を聞いていただけでは科目の内容をすべて理解することはできません。板書講義の場合、大学では科目を修得するのに必要な学修時間（1単位につき45時間）の3分の1を講義し、残りの3分の2は、学生自らが自主的に家庭ほかで学習するものと定められているからです。これは高校の授業と大きく異なる点です。高校では、必要な学習時間のすべてを授業で確保することになっています。したがって、大学では、講義で先生の話をしっかり聞いておかないと、家で何を勉強すれば良いかすら分からなくなってしまいます。ところが実態はというと、講義中に居眠りをしている学生や無関係のことに興じている学生が多数見受けられます。

「面白い授業をしてくれれば誰も眠ったりしない」という声も聞こえてきそうです。もちろん、学生の皆さんを眠りに誘ってしまう教員にも責任の一端があることを否定はしませんが、そもそも授業は落語や漫才とは異なります。眠ってしまう最大の原因は学生の皆さんにあります。要するに寝不足なのです。もしも、睡眠が十分足りていれば、「なんてつまらない授業なんだろう」と思うことはあっても、眠たくなることはありません。

睡眠不足の状態が続けば、楽しくもなく、ただただ我慢を強いられるだけの勉強に身が入るはずがありません。睡眠不足は勉学に限らず仕事をする場合でも根気を無くさせ、集中力をそぐ要因になり、ミスを誘発します。何をするにしても睡眠不足の状態で行くならば、うまく行かないことの方が多くなります。

睡眠不足が原因で講義中に寝てしまったために教員の解説を聞き渡らただけでなく、家

庭での予習復習もしないとすると、講義について行けるはずはありません。勉強がいやになった状態で理解できなくてつまらないと感じる講義に出席することは、本人にとって苦痛以外の何物でもありません。やがて勉強する気が完全になくなるという悪循環に陥ってしまいます。

睡眠はとても大事です。人は1日7時間から8時間の睡眠が必要とされています。成績が振るわなかった皆さんや、勉強意欲をなくしかけている皆さんは、まず生活習慣を見直し、毎日十分な睡眠時間を確保するようにしてはどうでしょうか。毎朝、気持ちよく目覚め、「さあ、今日もがんばるぞ」という気持ちになれば、勉強意欲がみなぎるに違いありません。

学習支援センターでは、相談者がどこでつまづいているのかを見極め、チューターが適切なアドバイスをします。平成28年度よりこれまでの数学、物理、英語に加えて化学と電気専任チューターが週2日勤務することになり、学習支援の体制がさらに強化されました。学習支援センターでは、学生とチューターが1対1もしくは少人数で、あたかも家庭教師に接するような感覚で分からないことを質問したり、解説を聞いたりすることができます。学習上の様々な問題に悩んでいる方は、是非一度相談に来てください。

## コラム

# あなたは「化学」好きですか？



専任チューター（化学） 高橋 丘

ネットで「化学の面白さ」を検索してみると約1,010,000件のヒット数。この件数はちょっとした驚きでした。

その中から化学の面白さについてのスレッドをいくつか紹介してみましょう。

「なぜ化学が必要か！！世の中で役立っているから！！」

「化学は、生物の華やかさも物理のかっこよさもなく、地味で泥臭い学問。」

「元素の周期表の美しさ 陽子が1個ずつ、ふえていきます。」

「身の回りのものは例外なく、せいぜい100種類の元素のいずれかでできているというのは不思議で興味深いと思います。」

「化学はパズルみたい。現象を文字で正確に表せる面白さ。身の回りとの関連が楽しい。理解すれば丸暗記は意外に少ない。」

「テクノロジーとしては材料を根底から作り出せ、結果としてイノベーションを起こしうる魅力があります。」

「だいたい化学ってなんだよ 人生……かな？」

「化学反応は無秩序に見えてほとんど全てに起こる理由がある。理由まで考えると面白い。」

「化学って知れば知るほど面白いからかなー 身近なことでも。あ、これってこういう理屈でこうなってんだー！ってわかると嬉しいし、それでどんどん知りたくなっちゃうよね。」最後に極めつけとしてノーベル化学賞の野依先生の名言を紹介しましょう。

「有機化学はマージャンより面白い」さすがノーベル賞受賞者ですね。

さて埼玉大の学生諸君は、「化学」にどんなイメージを持っていますか？そしてその先のあなた方の進路に「化学」を視野に入れている学生さんはどの程度いるのでしょうか。

私は高校で化学の教師として長年携わってきました。中には、私の授業に感化を受け、大学や職業で化学の分野に進んだ者もおります。教師冥利に尽きます。しかしながら、大多数の教え子たちは、理科とは全く無縁の幅広い進路を選択し、生き生きと社会で活躍しています。

私自身、どんなきっかけで化学の教師になったかをお話すると、高校時代の理科の授業の中では「化学」が最もとっつきやすかったので、その方向の学科に進みました。学生時代はどちらかというと「マージャンは有機化学より面白い」の部類の学生でした。今考えてみると、高校時代にとっつきやすい教科が一つでも見つけられたことが自分の人生に幸いしたと思っています。

先日、大学の同窓会で若い後輩の講演がありました。彼は卒業後すぐに就職せず、自分の最もやりたい職業を見つけ出す充電期間として数年間、様々な人との出会いや職業を経験し、行き着いたところが佐渡の一番小さな蔵元でした。杜氏と蔵人が力を合わせて共同でのぞむ酒造り。その中で蔵人一人ひとりが自分の役割を淡々とこなし、一つの味へと照準を合わせていく。その小さな酒蔵に大きな魅力を感じ、自分の力を発揮したいと思ったとのことでした。当然、学生時代に学んだ応用微生物の知識や経験が大いに役立っているということです。彼は今、大変な手間のかかる山廃仕込みという手法で酒造りに情熱を燃やしています。

人間万事塞翁が馬！大学生活の中で「化学」との大いなる出会いに期待しています。高校時代には化学がちょっと苦手だった人、教育課程の関係で未履修だった人、学習支援センターで待っています。

## コラム

# 資格取得に向けて



専任チューター（電気） 藤田 岩夫

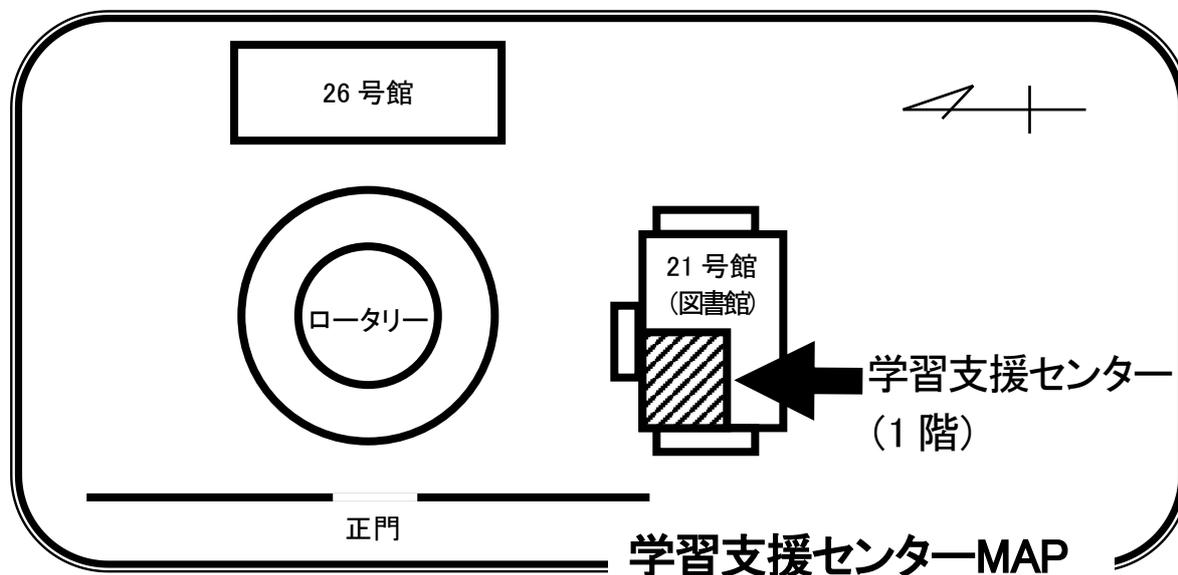
今年の4月から学習支援センターで電気関係の資格の指導を主に行っています。今年度は授業では資格の学科試験受験の指導を行い、実技等の指導を学習支援センターの時間を使い行わせていただいています。前期では電気工事士の第1種（高圧工事関係）、2種（低圧工事関係）の筆記指導を、後期では第1種及び第2種の実技指導と電験（電気主任技術者試験）の指導を行う予定です。

電気工事士の勉強では、短期集中的に行い、本年度内の合格を目指しています。電験は今後の受験を目指し、基礎的問題対応の内容を行っていきたいと思います。現時点では電験関連の教科は授業では少ないようですので、電験受験はかなり大変だと思いますが、今後は少しずつカリキュラムの中に入って来るようですので、電験への受験がしやすくなってくると思います。

電気の関係の国家資格では電気工事士資格が導入資格として取りかかるには最適かと思われます。学科と実技を伴う資格ですので、学科試験だけではなく、実技の練習を通して工事の技術、技能を学ぶことができます。学科と実技の両方を合格しなくてはなりませんので、筆記の学習と実技練習を積み重ねなくては合格できません。電気工事士の資格をステップに次への資格へチャレンジして欲しいと思います。

# 学習支援センターのご案内

- 学習支援センターは 21 号館（図書館のある建物です）の 1 階にあります。図書館に入ると、右側にすぐ学習相談室があります。
- 利用時間は、専任チューターが（10:30-18:30）、各学科担当教員が昼休み（12:40-13:15、12:45-13:20）および夕方（16:50-17:50）となっています。



- 予約は不要です。下記 URL 記載の担当表を参考にして質問したい先生を気軽に訪ねてください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/information/index.html>

- もちろん、支援センターにいる先生の専門に関係なく利用できます。
- 誰に相談したらよいかわからないときは、どの時間でもかまいませんので、来室して相談してください。適切な先生を紹介します。
- TA の時間には、コンピューターの操作やプログラミングについて相談できます。
- 授業の復習の相談場所、あるいはちょっと便利な自習室として、学習支援センターを利用してください。
- 学習支援センターは、前期および後期の授業期間に開室します。



学習支援センターの利用方法や活動内容について、詳細は学習支援センターの web サイトをご覧ください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/index.html>

学習支援センターニュースレターのバックナンバーは、下記 URL で閲覧可能です。ぜひご覧ください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/newsletter/index.html>

